

むかしばなし

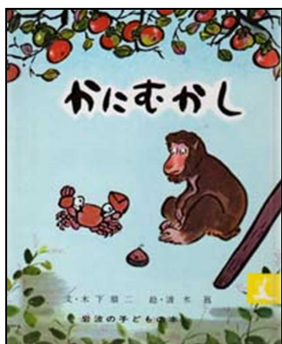
長い間語り継がれてきたお話には独特の魅力があります。日本と世界のお話を集めました。



🍌【にほん】

『かにむかし』😊

木下 順二／文 しみす こん 清水 崑／絵 岩波書店



むかしむかし、柿のたねを捨てたかには、せっせと柿の世話をしました。木が大きくなって実をつけると、さるがそこへやってきて……。さるとかにたちのたたかいを、味わいのある絵とゆったりとしたリズムのある文で描いています。

『ねずみのよめいり』

おざわ としお／再話 かないだ えつこ／絵 くもん出版

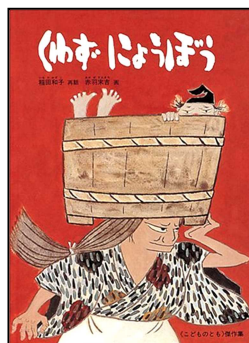
お父さんねずみは、娘の嫁入り先を「世界で一番えらい人にしよう」と旅に出ます。これは！と思った太陽に始まり、それらよりも偉いとされるものたちに会いに行きます。が、結局は……。

話の展開が面白く、次から次へとページがめくりたくなっていく絵本です。



『くわずにようぼう』

稲田 和子／再話 赤羽 末吉／画 福音館書店



「よくはたらいて、めしを食わない女房がほしい」。そんな欲張り男のところに本当にめしも食わず、くるくるとよく働くおなごがやって来た。けれど男がある晩こっそりと、米ぐらの中をのそいでみると……。絵と語り口でぐんぐん引き込まれるお話です。

『かさじぞう』😊

瀬田 貞二／再話 赤羽 末吉／画 福音館書店

おみそか
ある大晦日。正月のおもちを買うため、町に編み笠を売りに出かけたじいさま。1つも売れないまま、雪も降り出し、家路を急ぐと6体の地蔵様に出会いました。小さな思いやりが大きな幸せを呼ぶ、語り伝えたい民話です。



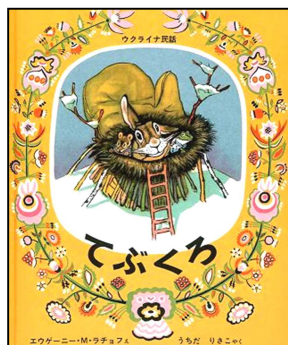
『したきりすすめ』 松谷 みよ子／作 片山 健／絵 童心社



ばあさまが煮ていたのりをなめてしまい、舌を切られたすすめのちゃん。心配したじいさまは、追い出されたちゃんを探しにすすめのおやどを訪ねます。ようやくちゃんに会えたじいさまが、おみやげにもらった小さいつづらを開けてみると……。

🐱【せかい】
『てぶくろ』🌞

エフゲーニ・ラチョフ／え うちだ りさこ／やく 福音館書店



おじいさんが森で落とした手袋の中に、ねずみやかえる、きつねやいのししなど森の動物が次々に入ってきます。手袋はぎゅうぎゅう詰めで、もう今にもはじけそう。その時、おじいさんが戻ってきて……。

『ランパンパン』

M.ダフ／再話 J.アルエゴ&A.ドウィ／絵 山口 文生／訳 評論社

クロドリは、「ランパンパン！」とたいこを打ち鳴らしながら、王様に連れさらわれてしまった奥さんを助けるためお城へと乗りこみます。旅の途中で集まった仲間といっしょに、王様をこらしめる姿にはきつと、胸がスーッとするはずです。



『おおきなかぶ』🌞 内田 莉莎子／訳 佐藤 忠良／画 福音館書店



おじいさんが植えたかぶは、とてつもなくおおきくなりました。ところが、どうしてもかぶをぬくことができません。こまったおじいさんは、たすけをよびましたが……。素朴でユーモラスなロシアの民話です。

『三びきのやぎのがらがらどん アスビヨルンセンとモーの北歐民話』🌞

マーシャ・ブラウン／え せた ていじ／やく 福音館書店



むかしむかし3匹のやぎがいました。名前はみんながらがらどん。おなかいっぱい草を食べようと山へ向かいますが、途中にはおそろしいトロルの住む橋が。3匹は無事たどりつけるのでしょうか。力強い絵にリズミカルな文がぴったりあった昔話絵本。

～その他にも～

- 『いっすんぼうし』・
いしい ももこ／ぶん あきの ぶく／え 福音館書店
- 『うらしまたろう』・
時田 史郎／再話 秋野 不矩／画 福音館書店
- 『かちかちやま』
長谷川 摂子／文 ささめや ゆき／絵 岩波書店
- 『ももたろう』・
まつい だだし／ぶん あかば すえきち／え 福音館書店
- 『王さまと九人のきょうだい 中国の民話』・
君島 久子／訳 赤羽 末吉／絵 岩波書店
- 『おおかみと七ひきのこやぎ グリム童話』・
グリム／原作 フェリクス・ホフマン／え せた ていじ／やく 福音館書店
- 『三びきのこぶた イギリスの昔話』・
瀬田 貞二／やく 山田 三郎／え 福音館書店
- 『スーホの白い馬 モンゴル民話』・
大塚 勇三／再話 赤羽 末吉／画 福音館書店
- 『ねんどぼうや』
ミラ・ギンズバーグ／文 ジョス・A.スミス／絵 覚 和歌子／訳 徳間書店
- 『ブレーメンのおんがくたい グリム童話』・
グリム／原作 ハンス・フィッシャー／え せた ていじ／やく 福音館書店